

とりもどそう

みんなの願い

教職員増やせ 30人学級実現を

働きがい・教育の喜び



給与制度改悪反対1.19集会には、会場いっぱい組合員が参加

府当局による給与制度大改悪、賃金カット延長に教職員の怒りが爆発。35000人を超える署名、府民や全国・大阪府下の働く仲間との連帯で、ボーナスの4%カットは中止、給与カット幅の0.5%圧縮などの是正を行なわせました。今後、給与制度の抜本改善、橋下府政の転換へ力を合わせましょう。



松本洋介さん (大教組青年部長)

学校現場は長時間過密労働でもう限界。そのうえ評価育成システムで特に青年教職員はやる気がそがれています。産休、病休の代替の先生も配置されず「教育に穴」があく事態もより深刻です。声をあげ、みんなと団結してかえていきましょう！

核兵器廃絶へ扉ひらこう 輝け憲法9条



昨年5月に核兵器廃絶を求めてニューヨークで開かれたNPT会議に大阪から151名の代表団を送りました。現地で署名やデモに青年教職員も大活躍。唯一の被爆国で平和憲法9条をもつ私たちの出番です！(2010年5月)写真はNPT会議に参加した大阪代表団

変えられる

教育・仕事・社会

国民の運動と世論により、「公立高校授業料無償化」(2010年度)に続き、国の責任による小学校1年生35人学級が実現(2011年)。教職員・父母・国民が力を合わせれば、学校・教育・社会は変わります。



大教組は夏と冬に府教委と交渉。評価育成システム廃止や臨時教職員の正規採用を強く迫る(10.12.16)



子どもや教育を語りあった「教育のついで大阪2010」全体会では青年教職員がよさこい河内音頭を披露(10.10.30)



藤木友紀さん (大阪府立平野高等学校)

高校現場でも学校の垣根をこえ、語り合える場が

府立高校に採用されて生徒や保護者との接し方、授業の進め方に悩む日々でした。しかも芸術で1人教科、同世代がないという中でいつも不安で相談相手が欲しいと思った時、組合の学習会にさそわれ、様々なことを話すことができました。学校や採用年度の垣根をこえて語る場があるってステキですよ。

青年のつながりを大切にした学校づくりを!

「組合って必要?」という声をよく耳にします。『子どもにとってどうなの?』『何がしんどの?』と突き詰めていくと、厳しい環境であればあるほど組合の存在意義がみえてきます。これからの主役は私達青年です。一人でも多くの仲間とつながり、よりよい教育・学校をつくっていきましょう!



西面友史さん (府立守口支援学校)